



# 歴代政権の歴史認識と安部談話

（歴代日本政府の公式見解（資料））

① 1946年11月3日

## 憲法前文

政府の行為によって再び戦争の惨禍がおこることのないようにすることを決意し：

《第一次吉田内閣・国際連合憲章に差別撤廃と人権擁護の必要性が盛り込まれる》

② 1972年9月29日

## 中日共同声明

（田中角栄・周恩来）

：両国国民は、両国間にこれまで存在していた不正常な状態に終止符を打つことを切望している。：日本側は、過去において日本国が戦争を通

無耳人という悲しみがある  
他者の言葉を  
聞き取れないために  
世界はどんどん狭くなり  
自分だけの思いを豪語する  
孤独な世界だ

**日本国憲法 第9条**  
日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。  
前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

じて中国国民に重大な損害を与えたことについての責任を痛感し、深く反省する。：両国間の国交を正常化し、相互に善隣友好関係を発展させることは、両国国民の利益に合致するところであり、また、アジアにおける緊張緩和と世界の平和に貢献するものである。

## 《沖繩の本土復帰・田中内閣「列島改造」政策を発表》

③ 1978年8月12日

## 日中友好条約

（福田赳夫・鄧小平）

前記（1972年9月29日）

の共同声明が両国間の平和友好関係の基礎となるものであること及び前記の共同声明に示された諸原則が厳格に遵守されるべきことを確認し、：

《日中平和友好条約締結・成田空港開港・国産原子炉「ふげん」臨界に》

④ 1985年10月23日

## 中曽根首相の国連総会演説

：我々日本人は、超国家主義と軍国主義の跳梁を許し、世界諸国民にも、また自国民にも多大な被害をもたらしたこの戦争を厳しく反省しました。日本国民は、祖国再建に取り組むにあたって、我が国固有の伝統と文化を尊重しつつ、人類にとって普遍的な基本価値、すなわち、平和と自由、民主主義と人道主義を至高の価値とする国是を定め、そのための憲法を制定しました。

我が国は平和国家をめざし、専守防衛に徹し、二度と再び軍事大国にならないことを内外に宣明したのであります。戦争と原爆の悲惨さを身を以て体験した国民として、軍国主義の復活は、永遠にありえないことであります。

《電電公社、専売公社、国鉄民営化・女性差別撤廃条約に批准》

⑤ 1993年8月4日

## 河野宮房長官（宮沢内閣）談話

：慰安所は、当時の軍当局の要請により設置されたものであり、慰安所の設置、管理及び慰安所の移送については、旧日本軍が直接あるいは間接にこれに関与した。慰安婦の募集については軍の要請を受けた業者が主としてこれに当たったが、その場合も、甘言、強圧による等、本人たちの意志に反して集められた事例が数多くあり、更に官警等が直接これに荷担したこ

ともあったことが明らかに  
なった。また、慰安所にお  
ける生活は、強制的な情況  
の下での痛ましいもので  
あった。：われわれはこの  
ような歴史の真実を回避す  
ることなく、むしろこれを  
歴史の教訓として直視して  
いきたい。

《イラク戦争・90年湾岸戦  
争・92年成立したPKO法  
案に基づき、イラクに自衛  
隊派遣・ゼネコン汚職事件》

⑥1993年8月23日

細川首相所信表明演説

過去の我が国の侵略行為  
や植民地支配などが多くの  
人々に耐え難い苦しみと悲  
しみをもたらしたことに改  
めて深い反省とおわびの気  
持ちは申し述べる。

《細川連立内閣成立・法隆  
寺、姫路城、屋久島などが  
世界遺産に》

⑦1995年8月15日

戦後50年村山首相談話

わが国は、遠くない過去  
の一時期、国策を誤り、戦

争への道を歩んで国民を存  
亡の危機に陥れ、植民地支  
配と侵略によって、多くの  
国々、とりわけアジアの諸  
国の人々に対して多大の損  
害と苦痛を与えました。私  
は、未来に過ち無からしめ  
んとするが故に、疑うべく  
もないこの歴史の事実を謙  
虚に受け止め、ここにあら  
ためて痛切な反省の意を表  
し、心からのお詫びの気持  
ちを表明いたします。

《人種差別撤廃条約を批准、  
世界で146番目の締約とな  
る・地下鉄サリン事件》

⑧1997年9月6日

橋本首相、内外記者会見  
での発言

日本政府は第二次世界大  
戦敗戦の日から50周年の  
1995年、内閣総理大臣  
談話という形をとりまし

て、我が国として、過去の  
日本の行為が中国を含む多  
くの人人々に対し、耐え難い  
悲しみと苦しみを与えた、  
これに対して、深い反省の  
気持ちの上に立ち、お詫び

を申し上げながら、平和の  
ために力を尽くそうとの決  
意を発表しました。私自身  
がその談話の作成に関わっ  
た閣僚の一人です。そして  
これが日本政府の正式な態  
度である、立場であること  
を繰り返し申し上げたいと  
思います。：

《介護保険法・ナホトカ号  
重油流出事故》

⑨1998年7月15日

橋本首相から韓国首相へ  
の手紙

我が国政府は、いわゆる  
従軍慰安婦問題に関して、  
道義的な責任を痛感してお  
り、国民的な償いの気持ち  
を表すための事業を行って

いる「女性のためのアジア  
平和国民基金」と協力しつ  
つ、この問題に対し誠実に  
対応してきております。私  
は、いわゆる従軍慰安婦問  
題は、当時の軍の関与の下  
に、多数の女性の名誉と尊  
厳を深く傷つけた問題と認  
識しており、数多の苦痛を  
経験され、心身に渡り癒し

がたい傷を負われたすべて  
の元慰安婦の方々に対し、  
心からのおわびと反省の気  
持ちを抱えていることを貴  
首相にお伝えしたいと思っ  
ます。

《特定非営利活動促進法・  
インド、パキスタン核実験》

⑩1998年10月8日

日韓共同宣言

(小淵・金大中)

小淵総理大臣は、今世紀  
の日韓関係を回顧し、我が  
国が過去の一時期韓国国民  
に対し植民地支配により多  
大の損害苦痛を与えたとい  
う歴史的事実を謙虚に受け  
止め、これに対し、痛切な  
反省と心からのお詫びを述  
べたい。《和歌山、毒物カ  
レール事件。4人死亡、67人  
中毒症状・ケニアとタンザ  
ニアのアメリカ大使館で同  
時爆発テロ事件、187人  
死亡》

⑪1998年11月30日

日中共同宣言

(小淵・江沢民)

1972年の日中共同声  
明及び1995年8月15日  
の二位覚総理大臣談話を遵  
守し、過去の一時期中国へ  
の侵略によって中国国民に  
多大な災難と損害を与えた  
責任を痛感し、これに対し  
て深い反省を表明した。

⑫2002年9月17日

日朝平壤共同宣言

(小泉・金正日)

日本側は、過去の植民地  
支配によって、朝鮮の人々  
に多大な損害と苦痛を与え  
たという歴史的事実を謙虚  
に受け止め、痛切な反省と  
心からのお詫びの気持ちを  
表明した。《住民基本台帳  
稼働・ユーロの流通開始》

⑬2005年8月15日

戦後六〇年小泉首相談話

我が国は、かつて、植民  
地支配と侵略によって、多  
くの国々、とりわけアジア  
諸国の人々に対して多大の  
損害とくつうを与えまし  
た。するとともに、先の大  
戦における内外のすべての

犠牲者に謹んで哀悼の意を表します。悲惨な戦争の教訓を風化させず、二度と戦火を交えることなく世界の平和と繁栄に貢献していく決意です。

《インドネシア、スマトラ島地震・イギリス、エジプトで自爆テロ》

⑭2008年5月7日  
日中共同声明

(福田康夫・胡锦涛)

両国がアジアと世界の平和と安定、発展のために貢献していく「戦略的互惠関係」を推進していくことなどを柱とする共同声明を採択。「日中関係を世界の潮流に沿って方向付け、アジア太平洋及び世界の良き未来を共に作りあげていくこと」を宣言。《新テロ特措法施行、インド洋で給油活動・大阪府知事選で弁護士の橋下徹当選38歳》

⑮2010年8月10日

日韓併合100年菅首相談話

三・一独立運動などの激しい抵抗にも示されたとおり、政治的・軍事的背景の下、当時の韓国の人々は、その意に反して行われた植民地支配によって、国と文化を奪われ、民族の誇りを深く傷付けられました。《尖閣諸島周辺で巡視艇衝突事件・民主党参院選で大敗、ねじれ国会・中国のGDP世界2位に》

上記の資料は内田雅俊さんの「戦後70年・浅薄な歴史認識は何をもたらすのか」からの抜粋です。《の部分には編集部日野が追加したものです。戦後歴代の首相が公式な見解として、戦争責任をどのように表明し、それを深めてきたかが伺えます。河野談話や村山談話だけでないことに注目しながら日本の戦後史を見つめたいものです。安倍内閣がいかに破壊的な言動をしているのかが良く分かります。

### 抗議文

ゲート前抗議集会 参加者一同



「訓練中」と表示された県道沿いの電光掲示板=2日前、日出生台

安倍晋三・内閣総理大臣、中谷元・防衛大臣、私たちは、ここ日出生台で10回目となる米海兵隊の実弾砲撃訓練に抗議し、その廃止を要求します。

アメリカは1945年以来、今日に至るまで沖縄を植民地と位置づけ、米兵たちは特権者として基地に君臨し、日本人の人権侵害事件など後を絶ちません。そして日本の歴代政権は意図的にそれを許し、対米従属の度合いをふかめ、好戦的な安倍政権において、対米従属の度合いは極言に迫った感があります。在沖米海兵隊幹部が基地反対運動を誹謗し、新基地建設に抗議する市民を米軍の手で拘束するなどの傲慢な言動の背景に、安倍政権の屈辱的な対米姿勢があることは想像に難くない現実があります。



地元自治体関係者に公開した米軍の訓練=4日前前10時43分、陸上自衛隊日出生台演習場=県提供

海兵隊が日出生台で行う

実弾射撃訓練は、沖縄の負担軽減を目的とした日米合意(1996)により、1998年に始まっています。訓練の一部を本土の5ヶ所に移した、沖縄の人々に負担軽減するとの約束でありましたが、軽減の実感はなく、むしろ拡大されたと感じています。市街地の住宅や学校に接近する普天間飛行場に、不安定で危険だとされるオスプレイを多数配備し、騒音、低周波、高温排気熱などの被害をもたらし、高江の原生林を破壊して広大なヘリパッドを造成し、辺野古の海を埋め立て、巨大な新基地を造ろうとしている日米両政府が「沖縄の負担軽減」を言うことは許されない欺瞞であります。日出生台の訓練も拡大・恒常化し、関連情報の公開は「米軍のセキュリティ」を理由に後退しています。このことは、米軍のセキュリティの問題ではなく、軍事に対して、

地方自治体を含む国民にものを言わせない行為に思えたりませぬ。事実、交渉の中で「特定秘密保護法」を口にした自治体幹部もいました。

前回(2012)の訓練2日目の深夜、訓練域外の県道に、武装したままの米軍車両・兵員がいることに気づいた人からの連絡で、証拠映像を撮影した人は「米海兵隊員には、日常の場であっても、後ろから接近してはならない」という故アレン・ネルソンさんの忠告を思い起こしたといえます。「反射的に攻撃される危険がある」からだという事です。現場に満ちた緊張感を貴殿等は想像することができませんか。

イラク・ファルージャで米軍が使用し、その残酷性ゆえに国際的批判をあびた、白燐弾を2010年の訓練に予告無しに使用したことを私たちは忘れてはなりません。



抗議文を読み上げる浦田龍次事務局長(右) = 3日、陸上自衛隊日出生演習場ゲート前

私たちは貴殿らに以下のことを要求する。日出生台における米海兵隊の実弾射撃訓練を廃止せよ! / 辺野古の海に新基地を造るな! / 高江にヘリパッドを作るな! / 平和外交に徹し、戦争に続く道から引き返せ! / 集団的自衛権行使の閣議決定を撤回せよ! / 特定秘密保護法を撤回せよ! / 私たちの暮らしに戦争の影を落とす全ての企みを断念せよ!

2015年3月1日

とき: 4月18日(土曜)午後2時~4時

会場: ホルトホール 303 会議室

入場: 無料 (カンパ歓迎)

第10回 講演会

新聞の使命

—ジャーナリスト50年の証言—

講師 久保田 誠一さん

協賛 大分マスコミ9条の会・赤とんぼの会

後援 大分合同新聞

主催 宗教者9条の会・大分 連絡先 0977-84-2257

編集後記

\* 気がなるが、見たくないもののが、代表が国会中継だ。国民を愚弄しているのかと思えない。追求する野党も最期は数で押し切られるという弱腰が目立ち、プロの政治家だとは思えない。下手だし、勝てないことが解っているから過酷な鍛錬を積むのがスポーツだけでなく、普通の道だと思っただが: 沖繩はちがう。ただ沖繩の日々が報道されることは殆ど無い。今沖繩を取り上げれば、民主主義の原点が少し蘇るのだと思うが。 \* 3・11の報道も「福島抜き」の感がする。第3回「国連防災世界会議」に130を超えている国の責任者が来日しているのだが、ここでも無責任だと思える対応が。被災地を見学したオーストリアからの

参加者が「原発が動いて無くて生活はできているのに、なぜ再稼働しようとしているのか」という疑問を: 国民の大多数がそう思っているのだが: 世間に対して「無関心・無感動・完全無視」が今の政府かと思うと恐ろしい。 \* 「集団的自衛権」に関して、国連安全保障理事会で、拒否権が発動された場合にも自衛隊の派遣が可能となる法整備をするという。「何としても武力行使したい」のだろうか: ※何よりも諦めてはならないのは、私たちひとり一人: 「閣議決定」される度にコロコロ変わるような国民になつてしまえば、民主主義は夢の夢になつてしまう。ささやかにしたたかにNOと言いつつ続けられる国民になるう!! (編集部)